



東北学院大学
災害ボランティア
ステーション



東北学院大学における 学生ボランティア 教育の展望

大学間連携災害
ボランティアシンポジウム

2022年1月29日

東北学院大学

総務部地域連携課 菱河 亮平

東北学院大学の紹介

創立：1886（明治19年）

W.E.ホーイと押川方義によって開設された「仙台神学校」を起源としており、建学の精神として、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育を掲げ、現在、3キャンパスに6学部16学科を擁する東北最大の総合私立大学である。



1891年に南町通りに完成した「仙台神学校校舎」

「ラーハウザー記念東北学院礼拝堂」



「専門部校舎（現在の本館）」

東北学院の三校祖

初代院長



押川方義

副院長



ウィリアム・E・ホーイ

第2代院長



D・B・シュネーダー

スクールモットー
LIFE LIGHT LOVE

<自己紹介>

菱河亮平（ひしかわりょうへい）

東北学院大学経済学部経済学科 卒業

学校法人東北学院 2001年4月入職

2001年～2005年：大学就職課

2005年～2012年：大学学生課

東日本大震災は勤務10年目の出来事

2012年～2015年：法人校友課（同窓会事務局）

2015年～2019年：法人施設課

2019年～ 現在：大学地域連携課

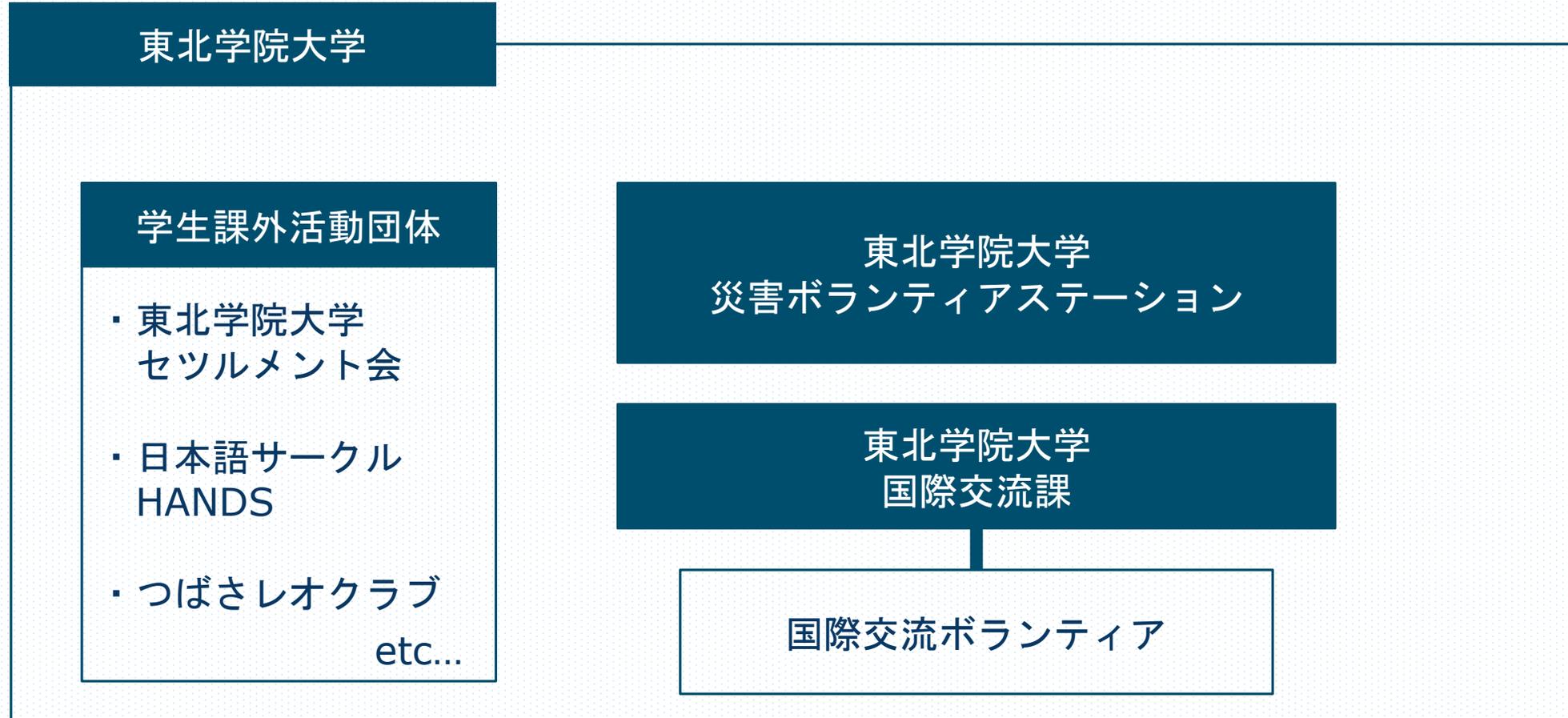
↓
事 ⇒現在、職員の立場から学生ボランティアのコーディネートに従





1. 東北学院大学における 学生ボランティア活動について

東北学院大学における学生ボランティア



東北学院大学セツルメント会

◆1955年より児童養護施設の訪問などのボランティア活動を展開 ボランティア実践と本学学生へのボランティアの斡旋



東北学院大学時報第423号（昭和60年11月）

日本語サークルHANDS

◆仙台に住む外国人の日本語学習（日常会話、日本語能力検定）を支援する団体。学部学科問わず活動を展開。





東北学院大学つばさレオクラブ

仙台ライオンズクラブの支援を受け2019年に発足。主に子どもへの様々な支援を展開。



国際交流ボランティア

海外からの東北学院大学へのゲストのおもてなし

→ゲストが来た際の学内案内、学食案内、イベント補助 など

交換留学生の新生活立ち上げのお手伝い

→交換留学生のオリエンテーション期間でのサポート など



災害ボランティアステーション

＜発足の経緯＞

2010年 学内にてボランティア拠点の設立準備

2011年3月中旬 本学学生が被災地でボランティア活動に従事

2011年3月下旬 学生の活動の支援体制についての議論

2011年3月29日 災害ボランティアステーション**発足**

＜主な活動＞

発災直後～仮設入居まで：家屋の泥出し、泥かきなどの作業

仮設入居以降：仮設住宅での足湯やサロン活動など

被災地での復旧支援活動：2011年～



＜主な活動＞

- ・ 沿岸部地域での家屋の泥出し
- ・ 避難所での「足湯活動」
- ・ 仮設住宅での炊き出し

被災地での復興支援活動：2012年～



＜主な活動＞

- ・ 仮設住宅での支援活動
（グリーンカーテン設置）
- ・ 学習支援
- ・ 慰問コンサート
- ・ 被災地域の環境整備（植樹）

コロナ禍直前の支援活動



<主な活動>

- ・ 全国の学生間での意見交換
（ボランティアシンポジウム）
- ・ 沿岸部での漁業支援（カキ養殖）
- ・ 公営住宅の環境整備
- ・ 住民交流イベントのサポート

東北学院大学による被災地域支援等の状況

福岡県

(2019年/九州北部豪雨)

熊本県

(2016年/熊本地震)

愛知県

(2019年/ぼうさいこくたいへの参加)

愛媛県

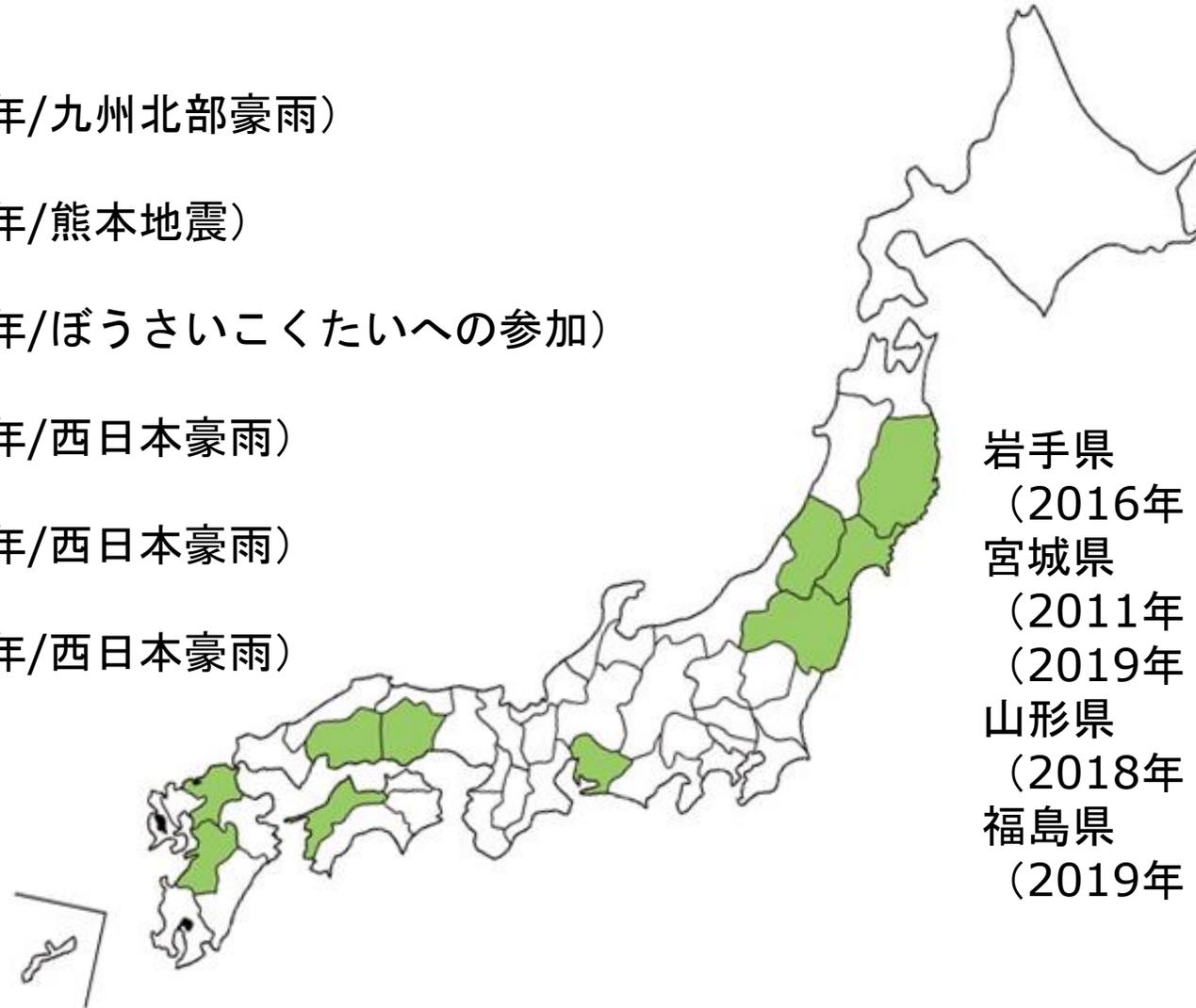
(2018年/西日本豪雨)

広島県

(2018年/西日本豪雨)

岡山県

(2018年/西日本豪雨)



岩手県

(2016年：台風10号)

宮城県

(2011年：東日本大震災)

(2019年：台風19号)

山形県

(2018年：除雪活動)

福島県

(2019年：募金活動)

全国からの学生ボランティアの受入



青山学院大学、明治学院大学、関西学院大学、
名古屋学院大学、熊本学園大学など、
全国各地の大学より学生ボランティアの受け入れ

他大学受入事例：絵本の読み聞かせボランティア

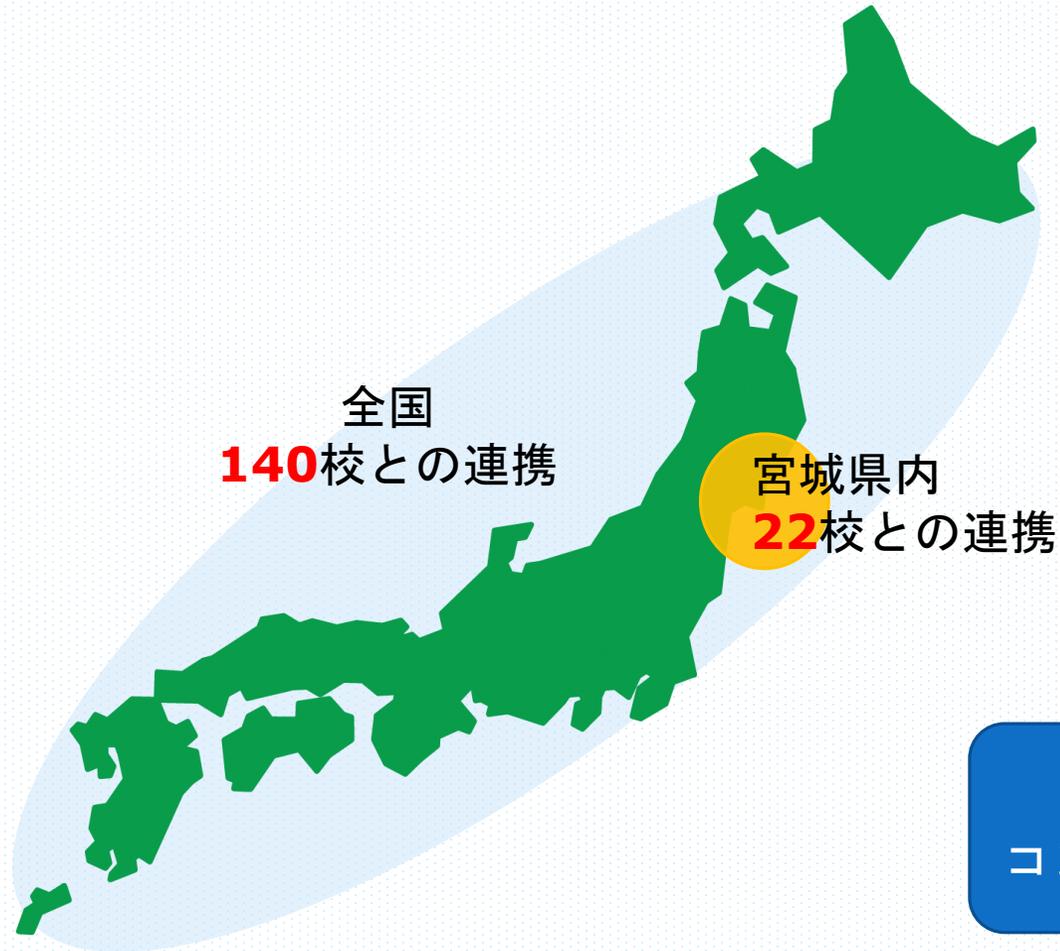
◆青山学院大学（塚本ゼミ、GLEP Youth）との協働活動

宮城県多賀城市内の避難所、学童保育所支援（2011年4月）

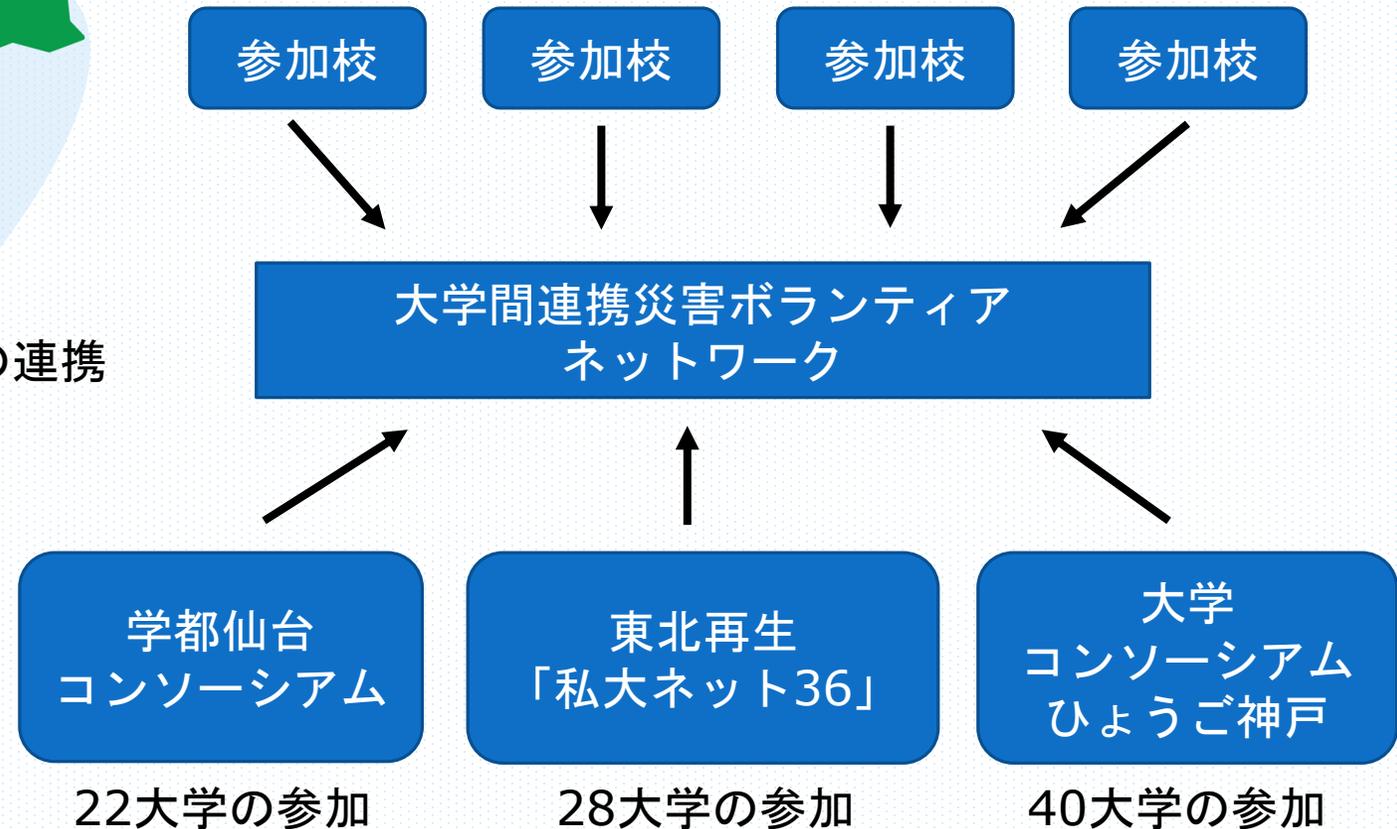


大学間のボランティアネットワークの形成へ

◆大学間災害連携ボランティアネットワーク（2011/5/27創設）



全国54カ所の大学が参加



感染症禍での活動状況

ネットワークとしての現地活動は休止。

しかし、オンラインでのイベントは実施

※2020年シンポジウムの様子

【学長挨拶】



【学生によるパネルディスカッション】



コロナ禍での学生ボランティア活動の状況

活動ではマスク着用



オンラインでの活動の展開





2. 本学学生への ボランティアに関する調査

調査概要

東北学院大学の学生が『ボランティア』『ボランティア活動』に対してどのような認識を有しているのかを調査。

全学部必修科目「地域の課題Ⅰ」履修者2,718名対象

質問項目

- (1) ボランティアに関するイメージ調査
- (2) ボランティア参加経験
- (3) ボランティア活動への参加に対する意識

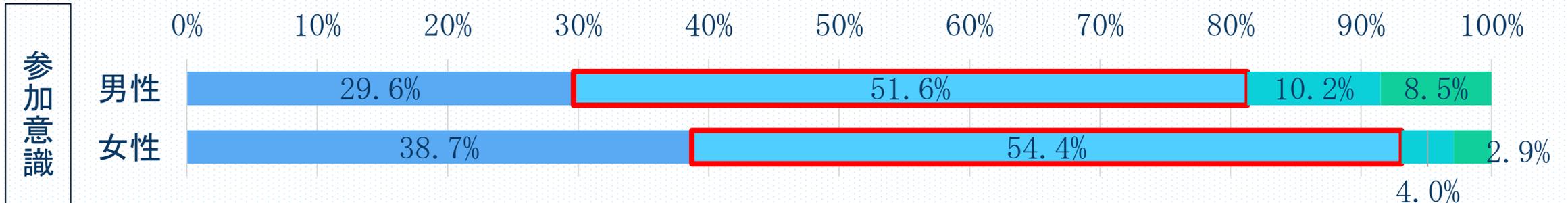
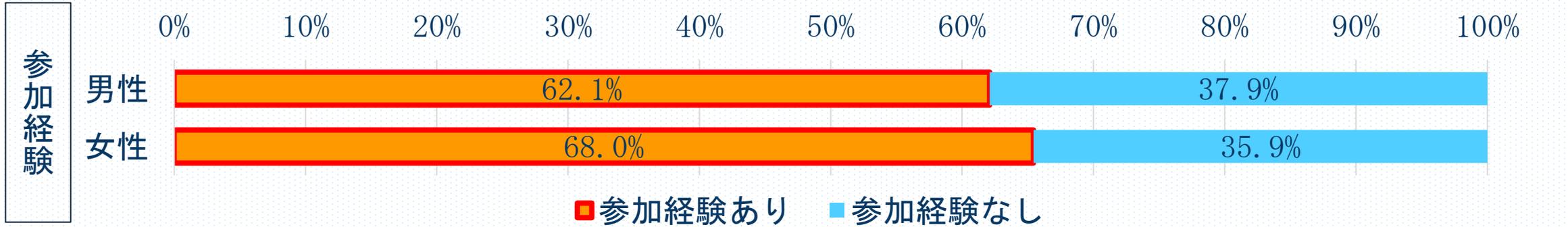
ボランティアに関するイメージ

「ボランティア」という言葉に対してどのようなイメージを持っているのかについての自由記述内容より「頻出語」として、出現回数が100以上の語を抽出

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
活動	1,202	行動	148
無償	590	参加	147
社会	445	人助け	126
地域	322	助け合う	124
貢献	288	見返り	123
自分	274	自ら	117
奉仕	257	持つ	115
慈善	226	誰か	107
自発	201	善意	105
困る	192	思う	103
助ける	188	手助け	102
求める	163	支援	101

ボランティアの性格である
「自発性」
「社会性」
「無償性」
が確認される。

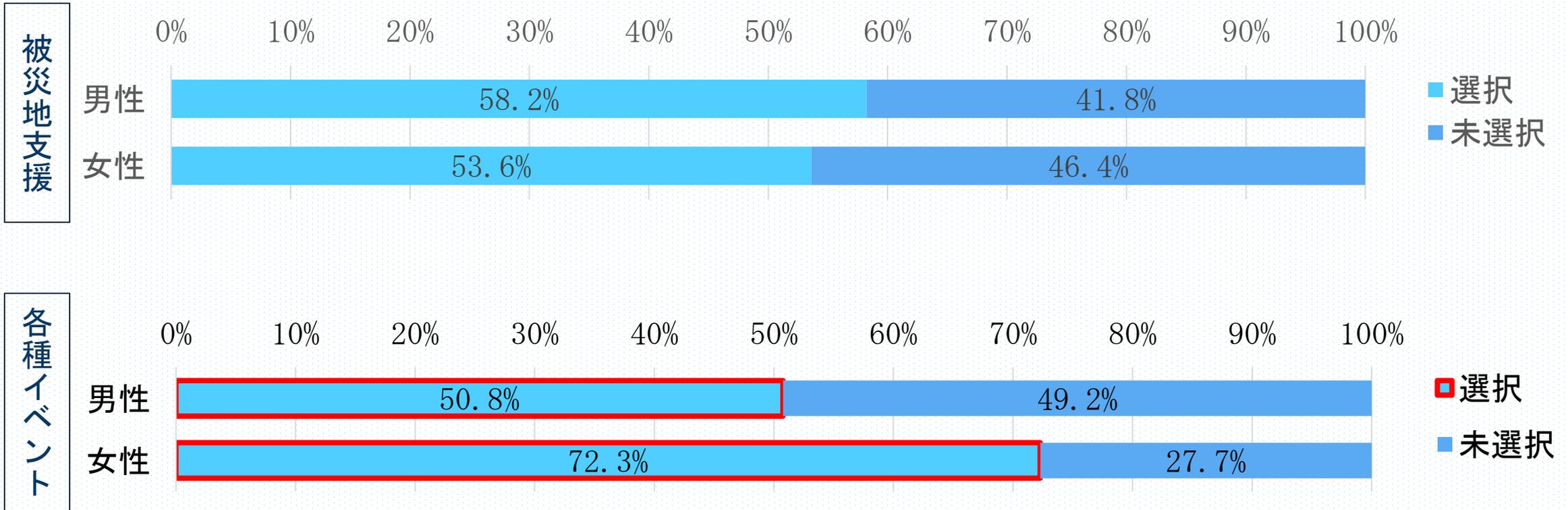
ボランティアへの参加経験・参加意識



- 在学中に（1人でも）何かしらのボランティア活動に参加してみたいと思う
- 在学中に（友達と一緒にであれば）何かしらのボランティア活動に参加してみたいと思う
- 在学中には、ボランティア活動に参加したいとは思わない
- ボランティア活動に参加することを自体思ったことがない

参加を希望するボランティア活動

参加を希望する活動については、「被災地・被災者支援」
「各種イベント等の運営スタッフ」への回答が多く見られた。



学生意識調査の総括

- ✓ 回答者した学生の6割が何かしらのボランティア活動経験がある
- ✓ 回答者の8割以上が在学中に何かしらのボランティア活動への参加を考えている
- ✓ 活動内容が明確である「各種イベントの運営スタッフ」や「被災地・被災者支援」への希望が多かったが、特定の分野・対象だけに興味関心が偏在していない（子どもやまちづくりなどへの関心）
- ✓ クロス集計の結果、女子学生の方がボランティア活動への参加意識が高い傾向にある
- ✓ クロス集計の結果、所属学科と希望する活動の関係性が強く見られている（教育学科と子どもと対象とする活動）



3. 東日本大震災10年を契機とした 本学におけるボランティア改革

TG Grand Vision150*における位置づけ

(1) 第1期計画

ボランティアステーションを中心とする人格形成の取り組み

(2) 第2期計画

地域の持続的発展に向けたボランティア実施体制の検討

TG Grand Vision150

- ・ 2026年の創立150周年に向け、20年間を5年ごと4期に区分し、各期における実行計画の策定
- ・ ボランティアステーションも該当

学長諮問（2021年春季）

①大学の教育と社会貢献を担う

総合ボランティアステーションの設置

②地域社会と連携を目的とする

総合ボランティアステーションとしての役割

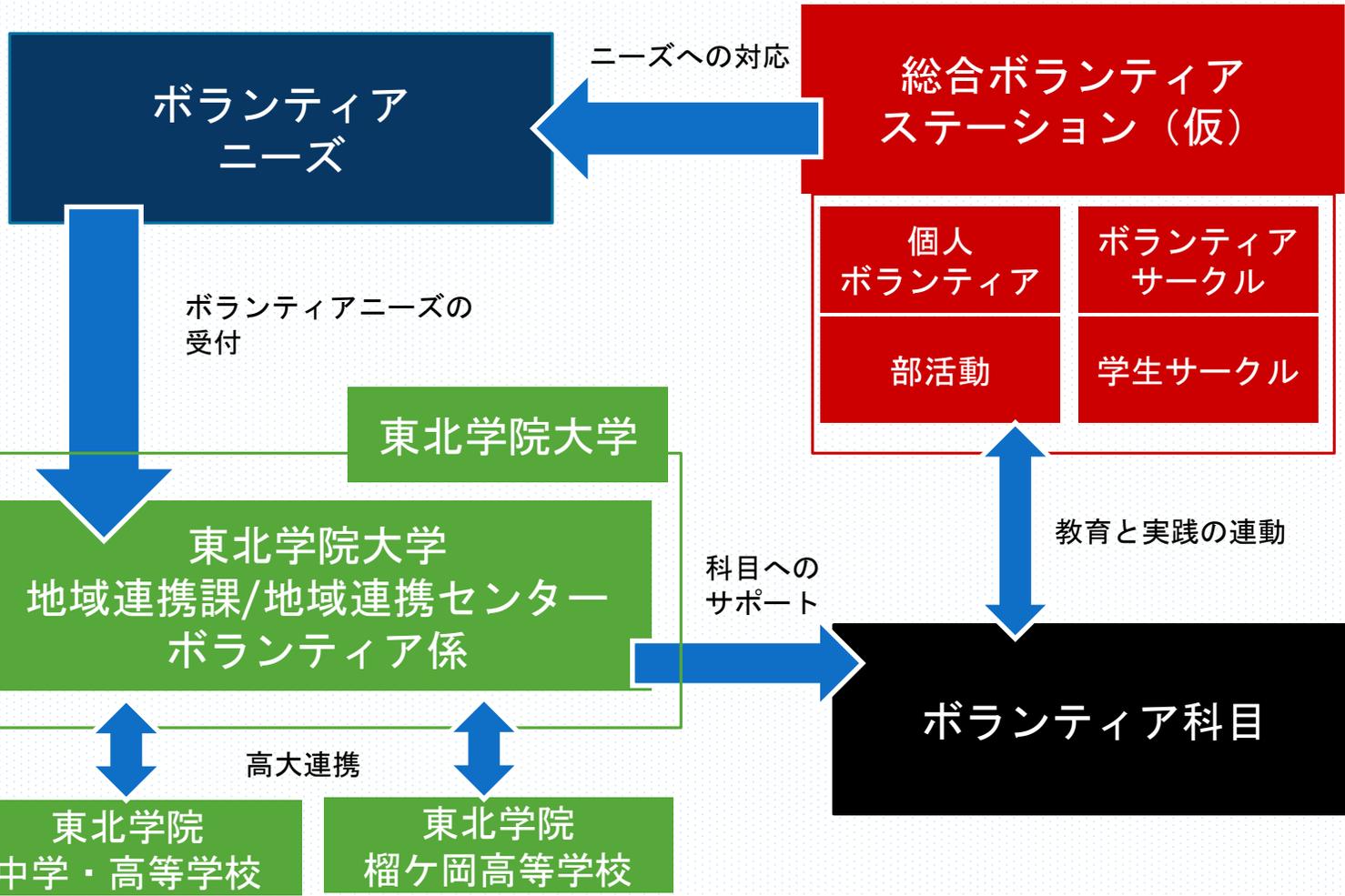
③全国、東北、宮城県における

大学間ボランティアのハブとしての機能拡充

諮問への答申（2021年秋季）

- 2023年に東北学院大学総合ボランティアステーションの設置
 - 多岐にわたる地域のボランティアニーズへの対応
 - 学生ボランティア活動へ学内支援体制の構築
 - ボランティア教育とボランティア実践を繋ぐ仕組みづくり
 - 大学間でのボランティアネットワークの構築

総合ボランティアステーションのイメージ



たとえば・・・

- ・教育と活動の協調体制の強化
...ボランティア学生の講義への登壇
- ・活動への支援体制の構築
...事前オリエンテーションの徹底
...活動に対するフォローアップ
...事前・事後の成長把握
...活動のポートフォリオ化
...活動証明
- ・学生相談体制の強化
...コーディネーター人員の充足
- ・高大連携活動
...教育・活動の連携やニーズの共有

全学的なボランティア活動の展開に向けて

◆教職員のボランティア活動への積極的なかかわり

...教職員のボランティア休暇（2011年7月制定）の活用

※特別有給休暇扱い。国家公務員の規程に準じた形

※使用実績：一定数の実績はあるが運用上の手間から年休使用者もいる

⇒FD/SDによる教職員の「ボランティア活動」への理解度をあげる取り組みを実施する

◆学生ボランティア活動への支援体制強化

...専従コーディネーターの配置

⇒財政面などの検討課題は残されている



ご清聴ありがとうございました。
